富士吉田キャンパスの思い出

全寮制による初年次教育を行う富士吉田キャンパスで2月6日、退寮式が執り行われた。1年生573名が教育職員や寮監などに感謝を告げ、名残惜しみながら富士吉田の地を後にした。

医学部1年
野口朋子

寮祭の思い出

ドーンと高く打ち上がった花火が思い出と共に夜空に咲き誇って、２０１９年寮祭の終わりを告げました。6月21日から23日にかけて、「Heart to heart」をテーマとして行われた寮祭が、共に作り上げてきた寮生にとっても、そして来場してくださった多くの方々にとっても良き思い出になっていればと、実行委員長を務めさせていただいた私は思います。

令和という新しい時代を迎える年に入学し、新たな一歩を踏み出した私たちが、昭和大学の寮祭の歴史に新たなページを刻みたいと思い、5月に準備を始めました。部門員の募集から始まりましたが、どのように進めていけば良いのか誰も分からず、思うように準備が進まないままに時間だけが過ぎていくような気がしていました。そのような中で、副実行委員長や部門長をはじめとするたくさんの人の協力により当日を迎えることができ、感謝しています。ありがとうございました。

バンドやダンスで盛り上がった前中後夜祭、ドッジボールを行い自熱した戦い況のコンパや部活動、フロアごとの模擬店など笑顔に溢れた3日間でした。寮祭を通してたくさんの仲間ができたことで、その後の寮生活も豊かにできた素敵な思い出になりました。

歯学部1年
酒井倫太郎

初年次体験実習を通して

私は初年次体験実習の中でリハビリデイサービス元気丸への施設実習が一番印象に残りました。

実習内容としては、利用者の方との会話やレクリエーションをとること、また利用者の方の趣味を一緒に楽しんだり、施設内の清掃などさまざまなことを体験させていただきました。

初日から利用者の方と話す機会が多くあり、たくさんコミュニケーションをとることができました。施設実習前は利用者の方とうまくコミュニケーションがとれるか不安でしたが、実際に話してみると会話が続き、帰り際に「今日はお話できてよかったよ」と言っていただきとてもうれしかったです。また利用者の方とコミュニケーションをとることで言葉遣いや話を聞く姿勢など多くのことを学ぶことができました。

初めての実習で不安な気持ちでいっぱいでしたが、スタッフの方が優しく指導してくれたので自信をもって実習に臨めました。

初年次体験実習を通してさまざまな方々と関わることができ、多くのことを学ぶことができました。特にコミュニケーションをとることの大切さを感じることができました。ここで学んだことを今後に活かしていきたいです。

薬学部1年
阿久津　舞

寮生活の思い出

私は入学前から、大学生という新しい環境に気持ちが高ぶる反面、寮生活で初めて顔を合わせる学部の異なる同期生と打ち解けて生活していけるかが不安でした。しかし、寮生活に徐々に慣れてあの時の不安が嘘のように仲良くなりました。また、寮のある富士吉田市とその周辺地域の富士山をはじめとする数多くの観光名所では、四季を通して大自然を肌で感じ、その感動を分かち合えるまでになりました。

約600名の学部の異なる仲間が寝食を共にした寮生活では、それぞれが違う価値観を持っていることに改めて気付かされました。この気付きは、医療人を目指す者として、患者さんを理解する為の重要な体験で、今後の自分に活かされていくと感じています。

私にとって、寮生活での全ての出来事は、〝いい思い出〟、〝貴重な経験〟、そして〝気付きの場〟となりました。

寮監さんや食堂スタッフの方々、寮担当の先生方や事務課の方々など、私達の寮生活を支えて下さった多くの方々にこの場を借りて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

保健医療学部
理学療法学科1年
村上　綾

地域交流を通して

私は、1年間の寮生活の中でSI（スチューデントインストラクター）として地域の方々と触れ合うことができました。SIは、主に富士吉田市内で開催される行事等の運営をサポートします。運営側として地域の方々が参加する催しに関わることができ、富士吉田の地域性などを実感できる最高の制度です。

私がSIとして参加した中で最も印象に残っているのは、「ニコニコかかし教室」です。これは、かかし食堂という子ども食堂に学生4名で伺い、地域の方々と昼食を一緒にいただいたあと、別の施設へ移動し、地域の子どもたちと会話を楽しんだり、勉強を教えたり、トランプ等で遊んだりしました。かかし食堂ではカレーライスや煮物などさまざまな食事をいただき、どれもとても美味しかったです。特にカレーライスは絶品で、満腹になってもおかわりしたくなりました。食堂の方々は皆さんとても親切で、皆さんの心の温かさを感じました。ただその場所にいるだけでほっこりした気持ちになれる優しさに溢れる食堂でした。

このSIを通して、私も将来患者さんと共にリハビリをしていく中で、辛いリハビリであっても患者さんに温かさを感じてもらえる理学療法士になりたいと思いました。

植田紫衣生さんがPFA優秀学生賞を受賞

―PFA国際歯学会日本部会―

PFA（ピエール・フォシャールアカデミー）国際歯学会日本部会第50回記念大会が11月23日、東京アメリカンクラブ（港区麻布台）で開催され、植田紫衣生さん（歯学部5年）が、PFA優秀学生賞を受賞した。

同学会は近代歯科医学の祖と言われるフランスのピエール・フォシャールの名前を冠して1936年にアメリカで設立された国際的歯科学会で、医道の高揚と研鑽をはかり、歯科医学の発展と向上を期することを目的としている。

植田さんは破骨細胞への スクロースの影響について研究し、スクロースが歯周病などの疾患において骨吸収を抑制する治療薬になり得る可能性を示した業績が高く評価され、同賞に選ばれた。

植田さんの研究成果は昨年のAPDSA（アジア太平洋歯科学生会議）およびJADR（国際歯科研究学会日本部会）にて発表されたもので、同会2018年度ジョセフ・リスター賞を受賞しており、その他、日本学生支援機構の2019年度優秀学生顕彰にも選ばれている。

植田紫衣生さんのコメント

このたび、PFA優秀学生賞をいただき大変嬉しく思います。

私はこれまで「破骨細胞分化に対するスクロース添加の影響」というテーマで研究を進め、同会で発表し評価していただきました。将来は日本だけでなく国際的な視野をもち、歯科医療に貢献できるよう努力してまいりたいと思います。

ご指導いただきました歯学部口腔生化学講座の上條竜太郎先生、吉村健太郎先生をはじめ先生方に心より感謝申し上げます。

（左から）植田紫衣生さん、宮﨑隆副学長、吉村健太郎講師（歯学部口腔生化学講座）

台風19号被災地へボランティア

学生に感謝状が贈呈

台風19号の被害を受けた長野市北部の水害被災地域でボランティア活動を行った本学の学生16名に木内祐二副学長（地域連携担当）から感謝状が贈呈された。学生らは昨年の10月に千曲川が氾濫した穂保地区で、家屋、道路、農地などの泥のかき出しや、がれき・家具などの片づけをして、被災した人々や地域の復旧・復興に貢献した。

MIZUHO　みずほ銀行
OneMIZUHO

住宅ローンを見直してみませんか？
毎月第2土曜日
休日相談会開催中

◆住宅ローンのお借り換えには、3つの目安があります。

1. 現在お借入中の住宅ローンの残高が1,000万円以上ある方
2. 現在お借入中の住宅ローンと、お借換後の金利差が年率1.0%以上ある方
3. 現在お借入中の住宅ローンの返済期間が10年以上ある方

お借り換えにより、毎月のご返済額を軽減できる場合があります。

＊上記は一般的な目安ですので、現在お借入中の金利条件（引き下げ条件）によっては借り換えのメリットがない場合がございます。また、住宅ローンのお借り換えにより、住宅ローン控除の適用を受けられなくなることがございます。
＊みずほ銀行でお借入中の住宅ローンをお借り換えすることはできません。
詳しくは、店舗またはみずほ銀行ウェブサイト【https://www.mizuhobank.co.jp/】まで。

【お問い合わせ先】みずほ銀行　荏原支店　TEL：03-3783-6111

OneMIZUHO